

2015年5月21日 (2ページ)

公益財団法人情報科学国際交流財団  
ACM-ICPCつくば大会実行委員会

ACM国際大学対抗プログラミングコンテストについてのお知らせ

**ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会で東京大学3位**

ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト(ACM International Collegiate Programming Contest, ACM-ICPC)世界大会で東京大学チームが3位となり、金メダル(注\*)および初のアジア地区チャンピオンの座を獲得した。

ACM-ICPCは世界規模のコンピュータ学会であるACMが主催して開催している3人一組で参加する大学対抗のプログラミングコンテストで、1977年以降毎年開催されている歴史ある国際大会である。

今大会は、世界各地で行われた地区予選に101カ国2,534大学38,160人が参加し、そこから選ばれた128大学の精鋭チームによる決勝戦が5月20日にマラケシュ(モロッコ)で行われた。

優勝は、St. Petersburg National Research University of IT, Mechanics and Optics(ロシア)で、日本からは京都大学チームと筑波大学チームも参加し、ともに28位であった。

1998年以来日本でもアジア地区の1サイトとして予選が行われており、今年は11月につくばカピオ(茨城県つくば市)においてつくば大会が行われる。

注\* 金メダルは1位～4位 銀メダル5位～8位 銅メダル9位～12位にそれぞれ授与される。  
(最終結果 <http://icpc.baylor.edu/worldfinals/results>)

**補足資料**

①ACM-ICPCとは

ACM(Association for Computing Machinery, 1947年設立, 会員数約8万人, 本部ニューヨーク)は、大学生を対象としたこのICPCを1977年以来世界的規模で開催しており、今回で39回目となる。このコンテストは同一大学の学生3人で1チームを組み、世界中の大学生が自らのコンピュータの知識と技術のレベルの向上を図るとともに国際交流の経験を積むことを目的としている。

世界6地区(アフリカ・中東地区, アジア地区, 欧州地区, 中南米地区, 北米地区, 南太平洋地区)の地方大会(2014年459サイト)で行われる予選から決勝進出チームを選び、一堂に会して世界大会で競う。プログラミングコンテストの中でも歴史があり、国際的で大規模なものとなっている。参加者は年々増加し、直近では約38,000人であるが、それ以前の予備コンテストも含めると30万人以上が参加している。

②競技スタイル

3人1チーム・PC1台で競技時間内に英語で出題された問題をどれだけ多く、早く、正確に解けるかを競うものなので、問題の読解力・解法力やプログラミング能力はもちろん、チームワーク・集中力・体力も必要となる。世界大会では、5時間の間に13問を解く。

③過去5年の優勝チーム/世界大会開催地

2014年 St. Petersburg State University(ロシア)/エカテリンブルグ(ロシア)

2013年 St. Petersburg National Research University of IT, Mechanics and Optics(ロシア)/ペテルスブルグ(ロシア)

2012年 St. Petersburg National Research University of IT, Mechanics and Optics(ロシア)/ワルシャワ(ポーランド)

2011年 Zhejiang University(浙江大学・中国)/オーランド(アメリカ)

2010年 Shanghai Jiaotong University(上海交通大学・中国)/ハルビン(中国)

④過去5年の日本チームの最高順位

2014年 東京大学 7位(銀メダル)

2013年 東京大学 3位(金メダル)

2012年 東京大学 11位

2011年 京都大学 27位

2010年 東京大学 14位

⑤日本におけるアジア地区予選

公益財団法人情報科学国際交流財団と実施協力大学(ホスト校)との共催で行う。

1998年に早稲田大学がホスト校となり東京大会を始めて以来毎年開催し今年で18回目となる。

2014年は早稲田大学が3回目のホスト校となり、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で中国・台湾からの参加を含めた40チームによって東京大会を行った。事前にインターネットを利用して行った国内予選には72校から326チーム978人が参加した。

2015年は筑波大学がホスト校となり、つくば大会を11月28～30日につくばカピオ等(茨城県つくば市)で行う。事前の国内予選は、6月26日(登録締切6月12日)に行う。

## コンテスト関係URL

①ACM-ICPCについて <http://icpc.iisf.or.jp/>

②ACM-ICPCつくば大会2015 <http://icpc.iisf.or.jp/2015-tsukuba/>

③ACM-ICPC世界大会を含む全般(英語) <http://icpc.baylor.edu/>

④ACM-ICPC2015世界大会結果 <http://icpc.baylor.edu/worldfinals/results>

## ACM-ICPC2015つくば大会案内 (17アジア地区予選の一つ)

主催: ACM-ICPCつくば大会実行委員会, 筑波大学, (公財)情報科学国際交流財団

共催: 茨城県, つくば市

登録締切: 6月12日

国内予選: 6月26日 インターネット利用のため各大学から参加

大会本選: 11月28～30日 つくばカピオ・筑波大学・つくば国際会議場(茨城県つくば市)

大会委員長: 田中二郎(筑波大学教授)

審判長: 石畑清(明治大学教授)

## お問い合わせ先

### ①公益財団法人情報科学国際交流財団事務局

E-mail: [office@iisf.or.jp](mailto:office@iisf.or.jp) Tel. 03-5766-3641 Fax. 03-5766-3642

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-10-7 グローリア宮益坂Ⅲ805

### ②ACM-ICPCつくば大会実行委員会(筑波大学)

E-mail: [ICPC2015@cs.tsukuba.ac.jp](mailto:ICPC2015@cs.tsukuba.ac.jp)